令和４年度　南信州広域連合地域自立支援協議会

こども部会　　活動報告

[１]　本年度のねらい

　　・学習会をもち、支援者の支援力アップ、資質向上を図る。

　　・現状の中から出された問題や課題について、地域資源の発掘、情報共有、意見交換等を通して問題解決の方法を探り、地域のシステム作りに取り組む。

　　・関係機関を知り、連携をはかる。

[２]　部会の開催及び取り組み内容

　第1回（5月27日）　　27名参加

　　　　　・部会長、副部会長の承認　自己紹介　自立支援協議会について

・令和4年度活動計画について

　　　　　・『LDのあるお子さんに対する支援について』県パンフレット共有

　　　　　・『発達障がい』を知ろう　Web動画視聴

　第2回（7月22日）　　　24名参加　（オンライン開催）

　　　　　・支援機関・事業所の事業内容と役割について情報共有（19機関事業所参加）

　第3回（10月21日）　　　41名参加　（オンライン開催）

　　　　　・講演会『当事者のお話からライフステージに沿った支援を考える』

講師　当事者と保護者

第4回（11月18日）　　　98名参加　（オンライン開催）

　　　　　・人材育成部会との合同専門研修会

障がい児支援アドバイザー事業について

講演会　『発達特性のある子の学齢期での生活支援を考える』講師　福岡　寿先生

　第5回（12月16日）　　　17名参加　（オンライン開催）

　　　　　・10月の講演会、11月の研修会を受けての意見交換

　第6回（2月17日）　　書面開催　・令和4年度のまとめと令和5年にむけて

【成果】

・オンライン開催については研修会に事業所から大勢参加することができ好評だった。

・飯伊圏域の子どもの支援に係る支援機関やサービス提供事業所それぞれの紹介を行い、それぞれの機関の役割を知り横の連携につながった。

・当事者と保護者によるお話は、幼児期から青年期にかけて専門機関を利用した時の保護者の思いや支援者との関係、学校生活と進路決定までの経緯、就労までの経過と就労後の支援、本人の障害に対する思いなどライフステージに沿った内容を丁寧に話して頂き、支援する側にとって大変学ぶことの多い内容だった。

・合同研修会は、発達特性に合わせた支援や何を大事に関わるべきか等、日々の支援を振り返りながら聞くことができた。児童クラブの職員も参加し、子どもの放課後の生活を支える立場で共有することができよかった。

【令和５年度にむけて】

・昨年に引き続いて研修会を開催し、圏域内の支援の資質向上を目指す。

・保護者への支援、虐待に関する連携、学校との連携等に関する学習。

・関係機関の情報交換の場づくり。